

## 平成 27 年度 第 2 回おおぶ文化交流の杜運営協議会

日時：平成 28 年 1 月 13 日（水）15：30

場所：おおぶ文化交流の杜 文化センター室

出席者：委員 6 名（1 名欠席）

／大府市（田中）事務局（JTBC 浅田・山口 TRC 峰岸・坂本）

- 事務局：開会。
- 司会：本日の議題は H27 年度上半期の運営状況報告と H28 計画についてご意見をいただく。

（H27 文化交流部門について事務局・浅田より説明）

- A 委員：ホールの利用可能回数に対する稼働状況 30% という数値は低いのではない。
- JTBC：日数稼働率では 52.5% となっており、下半期はホール利用と舞台のみ利用を合わせて日数稼働率で 70% を超えている。
- A 委員：目標値と比べたい、来年度はもっと利用率を上げる努力をするのか。
- JTBC：目標値は今期 60% であり、その後の目標が 70% であったが、すでに下期には目標値達成をしている。この目標値は、平日の稼働率も上がった為、達成できた。
- A 委員：この施設の良さが広まって利用率が上がっているのか。
- JTBC：同じ団体が何度も利用をしている。ホール席数は比較的少ない 315 席に対して舞台が広く、小さな演奏会、発表会には最適である。しかし、現状広域外市民の利用が減ってきており、努力不足を感じる。勤労文化会館の工事に伴い、この施設を使用される利用者を取り込みたい。
- A 委員：表中の利用区分「ギャラリー全体」というのはどういう状況の事か。
- JTBC：ギャラリーは窓を有する側が 1、図書館側が 2 と 2 部屋に分かれる為、真ん中の仕切りを無く全室を使用する事を「ギャラリー全体」と呼ぶ。
- B 委員：会議室 3 の利用が多い理由は。
- JTBC：料金も会議室 1 に比べ若干安く、また正面階段より 2F へ上がった際に一番手前となる為、人気である。
- B 委員：会議室は 1 や 3 などと個別で使用できるのか。
- JTBC：会議室 1.2.3 と別々での使用が可能である。
- C 委員：勤労文化会館も同様であるが、施設使用料の利用者が広域内市民・広域外市民で金額が違い、広域外が高くなる訳は何か。
- 大府市：広域内市民の利用を優遇する理由である。申込も広域内市民は 1 ヶ月早く

申し込む事ができる。名古屋市が隣接している為、今まででは名古屋市の利用者が多かった。

- J T B C : ギャラリーの利用時、広域外市民は、営利目的であると通常の5倍の料金となる。
- 大府市 : 体育館の利用では12倍の場合もある。
- D委員 : 使い易さとしてはどうか。
- J T B C : 図書館に毎日来館者がある事が魅力である。平日は平均1000人、土日は平均2000人の平均来館者がいると言われている。しかし、図書館利用者からは、図書館内で音のするイベントを行う事においてご意見を頂戴する事もある。(ふれあいの路コンサートなど)
- E委員 : 学習室利用者にふれあいの路コンサートの件など案内しているか。
- J T B C : 事前に掲示をしたり、学習室の利用者カードに挟み込みをしたり案内をしているが、聞いてないと言われる事が多い。
- A委員 : 施設利用のアンケートとは何か。
- J T B C : 1ヶ月程度期間を決めて、年に何回か行っている。重複しないように、利用の代表者に記入して頂いている。
- C委員 : 使われている年代はどれくらいが多いか。
- J T B C : 30代40代が多いようだ。
- C委員 : 施設利用のアンケートは何のためにとるのか。
- J T B C : 要求水準にも記載されている。
- 大府市 : 現状の利用状況を知る為に必要である。
- C委員 : 改善するのか。
- 大府市 : 市外と差別する為である。全体像を数値で把握する事は大切である。  
いつも同じ状況で来館をし、他の状況もある事を知らない利用者から意見を頂く事もあり、他の状況を説明する事ができる。
- C委員 : スタジオの利用頻度が高い、勤労文化会館が工事によって利用できないという原因があるのでは。
- A委員 : 図書館も同じくであるが、利用者は未就学児と親が多く、子どもが小学生になると利用が減ってしまう。小中学生が多く観覧できる企画を増やしてほしい。ジョイントフェスティバル「おうち」は大変良い企画であった。
- J T B C : 小学生はどうしても走り回ったりしてしまうので、扱いが難しい。中学生は学習室を多く利用している。
- D委員 : 駐車場が足りない件の対応はどうしているか。
- J T B C : 代替駐車場を探し、正式に書面を出して借りている。現状は施設職員のみ利用している。allobu職員である事が判るよう車に表示し利用している。図書館来館者だけでも駐車場が満車になる事があるので、日曜日のイベン

トが重なると本当に厳しい状況である。運用していたシャトルバスについては、ほとんど利用が無かった。現在は、利用者も乗合わせや、ふれあいバスの利用など少しづつ工夫をしている様子である。

(H27 図書館部門について事務局・峯岸より説明)

- A 委員：講座を行ったとの事だが、英文多読とは、耳から聞く事か。
- T R C：基本的には本であるが、付録 CD が付いているものもある。多読とは、辞書は引かない、分からぬところは飛ばす、つまらなければやめる、を 3 原則とした英語の学習方法。学習を続けるためにはある程度の冊数が必要であり、仲間を作る事が出来て、生涯学習支援の場所である図書館に適している。
- B 委員：1 冊 1 冊は薄いが、多く書籍が有り、現在も増えている。
- T R C：よく借りられている。知っている単語が少ない本でも、読み続けると最終的には読めるようになるとの事。近年、蔵書する図書館が増え、近隣では知多市立中央図書館にもある。
- F 委員：英文多読のように図書館がとても魅力的な講座を行っている事を知らなかつた。
- T R C：図書館は PR が上手でないかもしれない。今後の課題である。
- F 委員：作文講座と英文多読は参加してみたい。PR を判り易くしてほしい。  
事業実施報告内の図書館まつりでダンスを披露しているのは中高校生との事。現在中学生 LIVE を企画している為、高校生とも連携したい。中学生 LIVE でパフォーマンスライブへ参加する人材を発掘したい。
- D 委員：図書館の予約トップ 10 ぐらい知りたい。
- T R C：又吉直樹の「火花」が 260 件の予約でトップであった、複本は寄贈も含めて 15 冊。
- D 委員：事業報告書内「避難弱者」で集まった募金がどう使われたなど、来なかつた人にも判るよう説明が必要である。
- B 委員：本の貸出が前年より増えている事はすごい。  
事業報告書にそれぞれのイベントの反省点が記されているが、子育て支援講座「親子でふれあいからだ遊び」では用意した本の貸出が伸びなかつたとのこと。本の読み聞かせはあったのか。体を動かすだけで、本を用意していたけど貸出がされていなかつたのでは、本の紹介が不足だったのではないか。イベントを図書館で開催するという意味を考え、図書館の PR となり、資料を使ってもらえるようにしていかなければいけない。
- A 委員：「避難弱者」はサポーターのおはなしべやさんが中心で行ったのか。図書

館としての関わり方は。

- T R C : おはなしやのメンバーの方が「3.11を忘れない大府実行委員会」に所属されており、お誘いをいただいた。図書館からは館長とスタッフ1名が参加。講演の他にも書籍販売、物販、写真展なども同時開催したが、これだけ大きなイベントが出来たのはボランティアの方の活躍のおかげ。次回はコラビアでのイベントを予定されており、私もミーティングに参加させていただいている。
- B 委員 : 図書館利用者は子育て世代が多いが、サラリーマン、中学生と利用が減っていく。絵本から先に進まない。読書の楽しみを知らないのではないか。大人が読書を知る事が大切で、大人の読者を増やす努力が必要。大人の為の児童書教室も大切ではないか。読書会に子育て世代は時間がとれない。
- 大府市 : 大府市の広報として、色々な規制があり、広告が上手くいってない可能性がある。なるべく上手く広告できるよう、課としてもなるべくストップがかからないよう協力する。

(H27運営計画文化部門について事務局・浅田から説明)

(H27運営計画図書館部門について事務局・峯岸から説明)

- C 委員 : 子ども歌舞伎の開催はとても良かった。
- 大府市 : allobu主催ではなく、大府市の直営の企画であった。今年度は手探りで、運営に苦労した、指導される方も大変であった。来年度も行う予定である。
- C 委員 : 歌舞伎を経験した子どもがいると、次回もっと上手にできる。
- 大府市 : 費用もいくらかかるか判らず、判断に迷ったところもある。
- C 委員 : 市民から援助できると良い。
- F 委員 : 子ども達は、本番にとても強かった。練習を見ていて満席にするぞという気持ちに自信がもてない時があった。子どもの方が冷静で、本番は客席の空席状況を見ていたようだ。
- 大府市 : 指導者も本番本当に大丈夫なのかと、集中力の無さをなげいでいるところがケーブルテレビで流れていた。
- B 委員 : 笑学生落語のように続していくと良い。
- 大府市 : 北崎でやっていた歌舞伎が発見された。その歌舞伎とつなげていきたい。
- A 委員 : 1/10の市民公募企画 ObuWorldJAM では、音が図書館内まで流れたが、学習室も閉鎖しており、グループ室も解放する対応をしていた。図書館内も奥の方は音も聞こえず、今後も臨機応変にイベントを開催すると良い。
- J T B C : 1件クレームを受けた。特定の人は、ここは図書館なのに、何て事をしているのか！とお怒りになられ、市役所へ苦情を言うように依頼があった。

図書館が何の音もしない場所という考えは今や通用しない。イベントの事情は毎々説明している。

- T R C : 館内には静かに本を読める場所もあるのだが、いつもいらっしゃる利用者の中にはお気に入りの場所がある方もいるようだ。
  - B 委員 : 今までのイベントを様々見てきたが、文化施設として定着してきたのではないか。
  - F 委員 : 子どもが聞きたいコンサートがあるのに、有料であると家族分のチケット代金がかかる為、大人が子どもに行かないように促す。とてももったいない。子どものまちの様に、親とは別にし、スタッフが子どもの面度をみたり、子どもだけで見られるコンサートをしたらどうか。映画会など、ホールでやってほしい。
  - 大府市 : 映画をホールで行うと著作権の問題など、利用料などとても高額になる。
  - T R C : 図書館の DVD は図書館での上映権しかないので、ホールでの投影ができない。
  - C 委員 : 次回は、目標に対してどうなったのか、その後はどうするのかを聞いたい。
- 
- 司会 : 他に意見がなければ、ここで閉会する。今回は今後を良くする為の意見が多く出て良い会であったと思う。
  - 司会 : 閉会。